



平成27年11月4日

各位

上場会社名 富士ダイス株式会社
 代表者 代表取締役社長 西嶋 守男
 (コード番号 6167)
 問合せ先責任者 常務取締役業務本部長 井出 剛
 (TEL 03-3759-7124)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年6月25日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,395	534	560	409	20.47
今回修正予想(B)	8,026	464	447	302	15.14
増減額(B-A)	△368	△69	△112	△106	
増減率(%)	△4.4	△13.1	△20.2	△26.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	7,926	469	463	359	17.97

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,897	1,148	1,201	880	44.01
今回修正予想(B)	16,403	1,012	1,017	704	35.23
増減額(B-A)	△494	△136	△184	△175	
増減率(%)	△2.9	△11.8	△15.3	△20.0	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	16,251	1,088	1,130	767	38.65

修正の理由

平成28年3月期第2四半期における鋳工業生産指数や、日本機械工具工業会が公表する耐摩耗工具出荷額が前年同期比で減少しており、当社を取り巻く環境は変化しております。

平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績は、売上高につきましては、国内向け売上高が計画に対し僅かな未達に留まったものの、販売増加を見込んでおりました海外向け売上高が、中国及び東南アジアの新興国経済の成長鈍化により、計画を大幅に下回り、連結第2四半期の売上高は8,026百万円と前回発表予想を368百万円下回る見込みとなりました。

製品区分毎の売上高は以下の通りです。

超硬製工具類では、海外向けの溝付プラグ、国内向けの大型パイプ用ダイス並びに超高压発生用工具が市況の変化等により、計画を大きく下回りました。また海外で計画しておりました新規開拓が景気の低迷により進まず、売上高は計画比5.7%減の2,151百万円となりました。

超硬製金型類では、計画しておりました粉末成型用金型が顧客の生産計画の遅れにより、下期以降にずれ込んだものの、光学素子成型用金型、自動車部品生産用金型が堅調に推移した結果、売上高は計画比0.5%減の2,013百万円となりました。

その他の超硬製品では、電子部品やモーター関連製品向けの超硬合金チップの売上高が伸びたものの、計画しておりました海外向けの超硬合金チップの販売が低調で、売上高は計画比2.7%減の1,769百万円となりました。

超硬以外の製品では、海外向けのダイヤモンド研削砥石の販売が計画を大きく下回り、またセラミックス製の電池関連金型の販売が減少したこと等により、売上高は計画比7.8%減の2,093百万円となりました。

利益につきましては、当社単体及びインドネシア子会社の売上高の未達と、高採算品の需要不振の影響が大きく、営業利益464百万円、経常利益447百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益302百万円と前回発表予想を下回る見込みとなりました。

販売費、一般管理費を含め、固定費がほぼ計画通りに推移する中、原料粉末の市場価格は下がったものの、高採算製品の売上の減少により、固定費負担を補えず、利益率の悪化につながっております。

平成28年3月期通期の連結売上予想は、上期実績、今後の各国の経済動向、顧客動向並びに業界動向を加味した上で拡販対策を盛り込んだ見直しを行った結果、国内販売について当初予算とほぼ同額を見込めるものの、海外向けの販売は、中国及び東南アジアの景気低迷が下期も続くとしており、十分な回復は見込めない計画となったため、連結通期の売上高は16,403百万円と前回予想値を494百万円下回る見込みとしています。

利益につきましては、業績の下方修正を踏まえ、諸対策を予定しておりますが、営業利益1,012百万円、経常利益1,017百万円、親会社株主に帰属する当期純利益704百万円と前回発表予想を下回る見込みとなります。

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不正確な要素を含んでいるため、実際の業績は、今後の様々な要因によって上記予想とは異なる場合があります。

※当社グループが営む耐摩耗工具関連事業は、生産設備の取得及び維持、並びに多くの従業員の雇用を要する、固定費比率が比較的高い事業です。したがって、顧客からの受注の減少、需要の変動、他社との競合等により、当社グループの売上高が低下する場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

※当社グループの主力製品であります超硬耐摩耗工具は、産出地や生産量が限定されるタングステンカーバイド、コバルト等といった稀少な金属を原材料としております。したがって、これら希少金属の需要の急激な増加、あるいは産出量・生産量の減少、円安等によって原材料費が高騰した場合、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。

また、タングステンカーバイドは、その調達をほとんどを中国からの輸入に依存しており、中国の各種情勢等の変化によりタングステンカーバイドが調達できなくなった場合は、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。

以上